



減塩をテーマにレシピ考案

地元食材を使った健康料理を募るレシピコンテストの表彰式が12月25日、市役所で開かれました。

最優秀レシピ賞と考案者は以下のとおり。

- ▶小中学生の部 今井梨里穂さん(門屋)
「TKT(トマトかつおたまご)スープ」
- ▶一般の部 神田恵里子さん(佐倉三区)
「万能!おまえざきらっかジェノベ」

◀今回のテーマは「減塩」。49点の応募から10点が表彰されました



図書館でおしごと体験開催

市内の小学生を対象とした図書館業務の体験会が12月27日、市立図書館アスパルで開催されました。

6人の参加者は、書架整理や本の貸し出し業務などを体験し、本の丁寧な扱い方などを学びました。増田結月さん(大山区)は「本の整理が大変だった。普段職員さんが丁寧に整理整頓してくれているおかげで本が探しやすいことがわかった」と話しました。

◀本へのカバーかけを体験する参加者



走るコツを小中高生に伝授

市内出身で、ロンドン大会から3大会連続で五輪陸上競技に出場した飯塚翔太選手によるランニング教室が1月13日、浜岡総合運動場陸上競技場で開催されました。

飯塚選手は、小学生から高校生までの参加者134人にストレッチやトレーニング方法、体の軸をぶらさない走り方などを指導しました。

◀参加者に走るコツを手取り足取り伝える飯塚翔太選手



市制20周年を盛り上げる

市制20周年を盛り上げるため公募したキャッチフレーズの表彰式が1月17日、市役所で開かれました。

62点の応募の中から決定したキャッチフレーズは「20周年の想い、未来へ受け継ぐ御前崎」。考案者の坂本佳子さん(下朝比奈)は「移住促進や子育て支援などの事業を継続して展開し、まちを活性化させてほしい」と笑顔を見せました。

◀柳澤市長から記念品を受け取る坂本さん



御前崎市民が交通安全誓う

市交通安全会の水野克尚会長と各地区総代7人が12月26日、市民を代表して「交通安全宣誓書」を菊川警察署の竹下貢署長へ提出しました。

15,004人の市民が交通安全の模範となることを誓い、宣誓書に署名。水野会長は「安心して暮らすことのできるまちとなるのが私たち市民の願いです」と話しました。

◀交通安全宣誓書を読み上げ、竹下署長に手渡す水野会長



御前崎を守る決意を新たに

市消防団出初め式が1月6日、市民会館で執り行われました。出初め式は、消防団の防火・防災に対する決意を新たににする新年の風物詩です。

団員や関係者約350人が出席。式典では、31人が勤続功労賞で表彰されました。増田吉秀団長は「いつ起こるかわからない災害に対応できるように訓練を重ね、地域防災のさらなる強化を図りたい」と話しました。

◀令和6年の無火災・無災害を祈念する団員



五穀豊穡を願う「どんど焼き」

正月に飾った門松やしめ縄などを燃やし、五穀豊穡や家内安全、無病息災などを願う「どんど焼き」が1月14日、桜ヶ池にある池宮神社で実施されました。

毎年、佐倉地区の有志「桜成人会」が主催。年男年女が地域住民により持ち寄られた正月飾りに点火しました。同会の河原崎恵士会長は「この地域の一年間の安寧を祈りたい」と話しました。

◀炎が大きく燃えあがり、煙が天高くのぼるどんど焼き



石川県穴水町に職員を派遣

1月19日から26日にかけて令和6年能登半島地震の被災地の避難所運営業務に派遣されていた松本亜泉係長が1月29日、柳澤市長に帰任報告をしました。

松本係長は「住民による運営がされており、共助の力が重要。行政としては被災者の心に寄り添った支援が必要だと感じました」と報告。市は今後も必要に応じた支援を続けていきます。

本市の被災地への支援情報はこちらから▶

